

安全データシート (S D S)

整理番号 : DS0007-0279

作成日 : 2026/02/02

<供給者情報>

供給者 : 三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社

住 所 : 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目1番9号

電 話 : 下記番号までご連絡ください。

機種	担当部門	電話番号
放電加工機	EDM事業部	052-719-7121
レーザ加工機	レーザ事業部	052-719-7980
数値制御装置(CNC)	NC事業部	052-722-4076

<製品名>

除鏽剤 HYPROS (以下、「HYP-R2S」)

安全データシート

1 化学品及び供給者情報

製品の名称 : HYP-R 2 S
 供給者の会社名称 : 三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社
 住所 : 愛知県名古屋市東区大幸南1丁目1番9号
 担当部門 : EDM事業部
 電話番号 : 052-719-7121

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性／刺激性 区分 1
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1 (呼吸器)
 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報 : 危険
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 呼吸器の障害

注意書き

安全対策

：用途以外には使用しないこと。

取り扱う際は、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋を使用すること。

使用目的以外の所に付着した場合、速やかに布等で拭き取ること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

保管の際は、必ず密封し、温度40°C以下の所、直射日光の当たらない所に置くこと。アルカリ性物質と一緒に保管してはならない。

法令に従って廃棄すること。

保管

廃棄

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

：混合物

化学名又は一般名

：(主成分)無機酸

官報公示整理番号(化審法)

：記載あり

化学物質管理促進法

：第一種、第二種指定化学物質の対象物ではない。

安衛法表示・通知義務対象物質

：表示・通知義務対象物質 政令番号 第618号 りん酸 21%

毒物及び劇物取締法

通知義務対象物質 政令番号 第340号 チオ尿素 0.9%

：対象物ではない。

4 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : この製品が皮膚に触れた場合、直ちに多量の水で洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄後、医師の診断を受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚の障害を生ずる恐れがある。
- 眼に入った場合 : この製品が眼に入った場合、直ちに多量の水で洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄後、医師の診断を受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと眼の障害を生ずる恐れがある。
- 飲み込んだ場合 : 腐食性の製品なので、吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療措置を受ける手配をする。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 救助者は必ず保護具を着用する。

5 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 特有の消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合は、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。残りは、大量の水で洗い流す。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
酸性の製品なのでアルカリ（ソーダ灰等）で中和する。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。
適切な保護具を着用する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 安全取扱い注意事項 : 取り扱う場合は、局部排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。
酸性なので、アルカリ性の製品との接触を避ける。
- 保管
- 安全な保管条件 : 通気のよい場所で容器を密閉し保管する。
直射日光、高温(40°C以上)、多湿を避けて保管する。
- 注意事項 : アルカリ性物質と一緒に保管してはならない。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン
腐食性が強いので、ステンレス、鉄等のものは使用できない。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度	: 設定されていない。
日本産業衛生学会	: $1\text{mg}/\text{m}^3$ (りん酸として、2020年度版)
A C G I H	: $1\text{mg}/\text{m}^3$ (TWA、りん酸として、2012年)
	: $3\text{mg}/\text{m}^3$ (STEL、りん酸として、2012年)

設備対策

保護具

呼吸用の保護具	: 簡易衛生マスク
手の保護具	: 不浸透性の手袋
眼、顔面の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性の保護服

9 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体(20°C)
色	: 緑色
臭い	: 特異臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなしデ
分解温度	: 一タなし
pH	: 2.0 (1%)
動粘性率	: データなし水
溶解度	: に可溶
蒸気圧比	: データなし 1.
重	: 15 (20°C) デ
相対ガス密度	: 一タなし
粒子特性	: 対象外

10 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし
避けるべき条件	: 光に当たると変色する場合がある。
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11 有害性情報

急性毒性	: LD ₅₀ (経口ラット) 6600 mg/kg (注1)
皮膚腐食性／刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 呼吸器の障害
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし
がん原生	: 日本産業衛生学会 グループ2B (チオ尿素)

1 2 環境影響情報	
生態毒性	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生態蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 移動する場合がある。
オゾン層への有害性	: 知見なし
1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた産廃処理業者に内容を明確にして処理を委託する。
汚染容器・包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
1 4 輸送上の注意	
国連分類	: クラス 8 (腐食性物質) 3 2 6
国連番号	: 4 (P. G. III)
国内法規	: 船舶安全法 腐食性物質 航空法 腐食性物質
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 容器の漏れがないことを確かめ、転倒、落下しないよう丁寧に取り扱う。 直射日光、高温(40°C以上)、多湿を避けて取り扱う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
1 5 適用法令	
火薬類取締法	: 該当しない
高压ガス保安法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 危険物 該当しない 特化則 該当しない 有機則 該当しない 表示義務対象物質 該当あり 通知義務対象物質 該当あり皮 膚等障害化学物質 リン酸
化審法	: 特定化学物質及び監視化学物質に該当しない。 優先評価化学物質 チオ尿素、 1,1'-オキシジ(プロパン-2-オール)
船舶安全法	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質
海洋汚染防止法	: ばら積み運送 未査定液体物質 個品運送 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
1 6 その他の情報	
注釈 1 LD ₅₀ 値	: この値は使用する原料のLD ₅₀ 値から計算した値です。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。